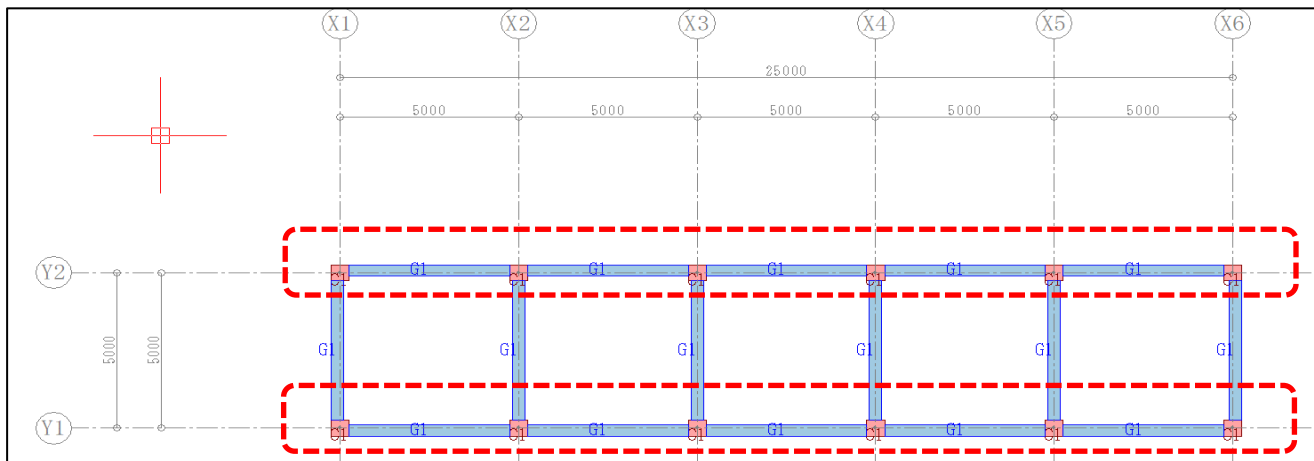


梁の圧接（継手）が少ない

梁の圧接（継手）個所数が計算されていない、或いは少ないと感じた時、
梁の圧接個所数の算出は以下のルールで算出していますので、ご確認ください。

1. 連続梁の時



連続梁の時は、「梁基準」の画面で設定されているルールに基づいて算出されます。

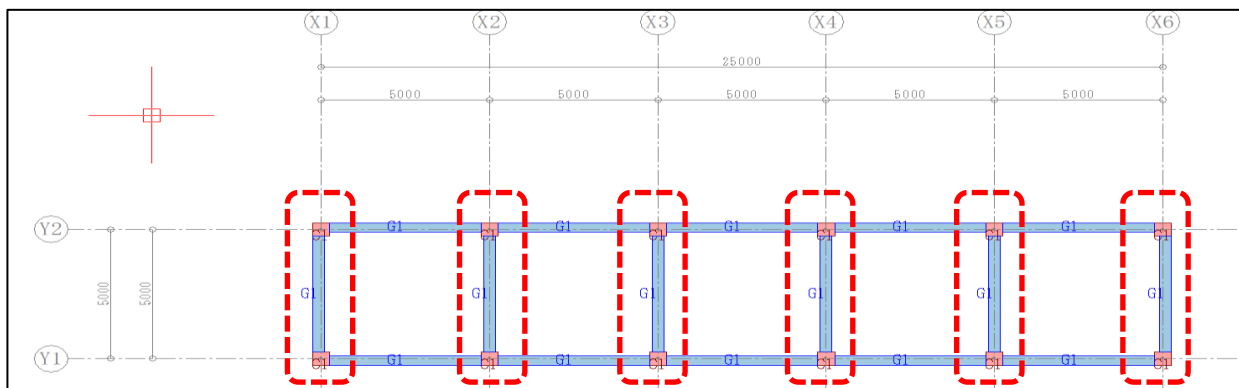
(梁基準)

梁基準											
鉄筋継手規則											
・ 基礎大梁ごとに	0.5	個所の継手があるものとみなし	梁長	5.0	mごとに	0.5	個所の継手を加える。ただし	10.0	m以上は	2.0	個所とする。
・ 基礎小梁ごとに	0.5	個所の継手があるものとみなし	梁長	5.0	mごとに	0.5	個所の継手を加える。ただし	10.0	m以上は	2.0	個所とする。
・ 大梁ごとに	0.5	個所の継手があるものとみなし	梁長	5.0	mごとに	0.5	個所の継手を加える。ただし	10.0	m以上は	2.0	個所とする。
・ 小梁ごとに	0.5	個所の継手があるものとみなし	梁長	5.0	mごとに	0.5	個所の継手を加える。ただし	10.0	m以上は	2.0	個所とする。

上記梁基準の画面は、[表示切替]→[概要・基準]タブ→[梁]で呼び出します。

表示切替(D) よくある質問(Q)									
概要・基準	断面リスト	伏図拾い	単体拾い	計算	帳票	土工事	オプション	ALL	
物件概要	階	基礎	柱	梁	床	壁	階段	雑	

2. 単独梁の時



単独梁の時は、物件概要の「通則」の画面で設定されているルールに基づいて算出されます。

物件概要

物件概要 計算基準 材料設定 定着表 基準材種 通則

①鉄筋継手設定(一般規則)

計測した鉄筋の長さについて、径 13 mm以下の鉄筋は 6.0 mごとに、
径 16 mm以上の鉄筋は 7.0 mごとに継手があるものとみなす。

この例では、主筋の径が16mm以上の梁は、鉄筋長さが7m以上ないと、圧接が算出されないこととなります。